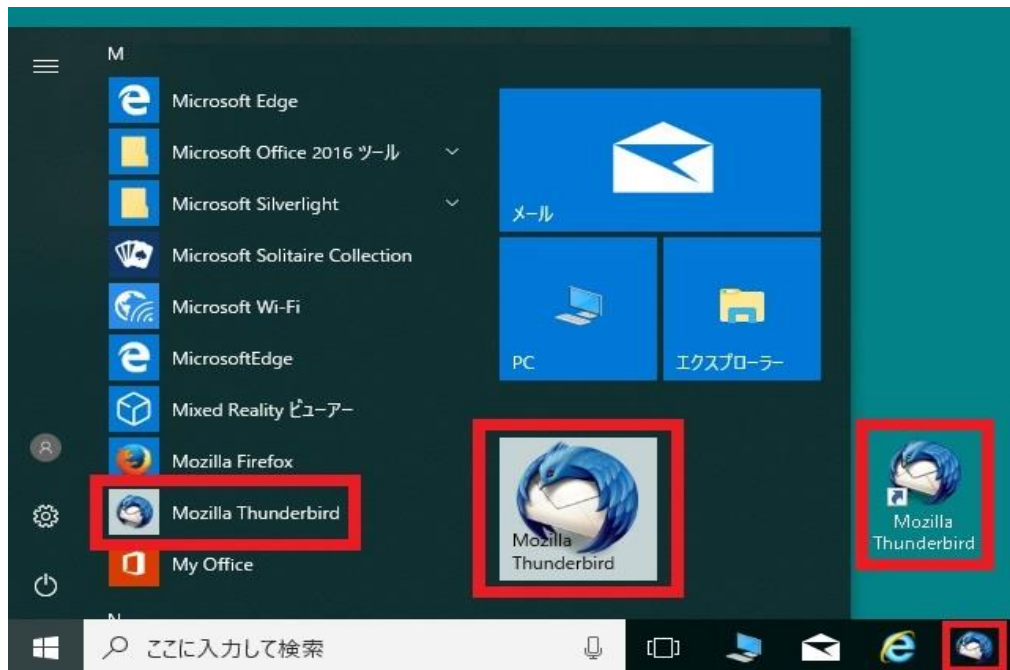
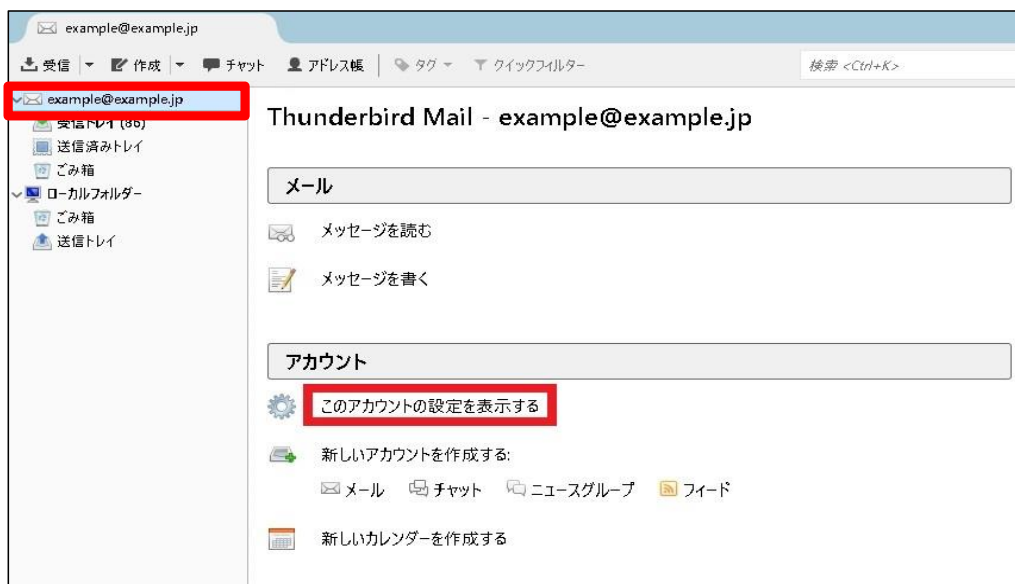


STEP1 Thunderbird を起動します (Windows10の場合)。



STEP2 設定を確認したいアカウントをクリックしたのち、
「このアカウントの設定を表示する」をクリックします。



STEP3

『アカウント設定』が表示されます。
必要に応じて設定内容を変更してください。

①アカウント名(N):	『任意の名前』 このメールソフトの管理用の名前です。
②名前(Y):	『お客様のお名前』 メールを受信した方に送信者(差出人)として表示されます。
③メールアドレス(E):	『メールアドレス』 マイデスクに登録されたメールアドレスです。

STEP4

メニューから『サーバー設定』をクリックします。
必要に応じて設定内容を変更してください。

①サーバー名(S):	『pop.』に続けて、お客様のドメイン名が設定されていることを確認します。
②ユーザー名(N):	『メールアドレス』 マイデスクに登録されたメールアドレスです。

セキュリティ設定

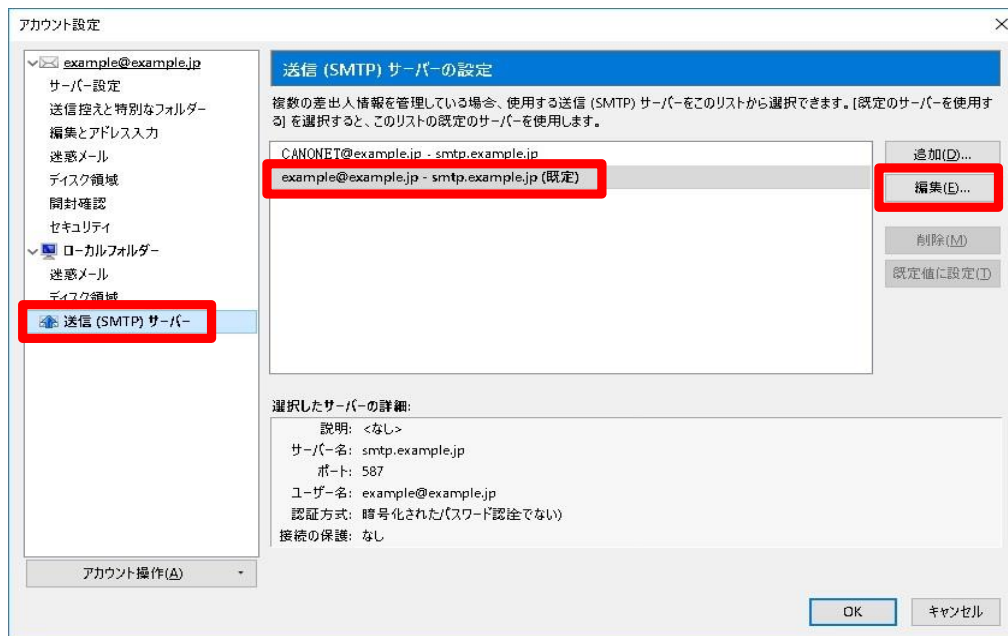
③接続の保護(U):	『なし』 選択されていることを確認します。
④認証方式(I):	『暗号化されたパスワード認証』 が選択されていることを確認します。

サーバー設定

⑤ダウンロード後もサーバーにメッセージを残す(G):	チェックが入っていることを確認します。他の端末でもメールを受信する場合には、チェックを入れます。
⑥ダウンロードしてから	チェックが入っていることを確認します。チェックを入れない場合、メールサーバ上のメールボックスの空きが無くなり、メールが受信できなくなる可能性があります。
⑦日以上経過したメッセージは削除する	サーバーにメールを残す日数を指定します。サーバからの削除は、メールソフトからの送受信タイミングで実施されます。
⑧ダウンロードしたメッセージを削除したらサーバーからも削除する	任意の設定となります。チェックが入っている場合、メールをメールソフト上で削除するとメールサーバからも削除されます。

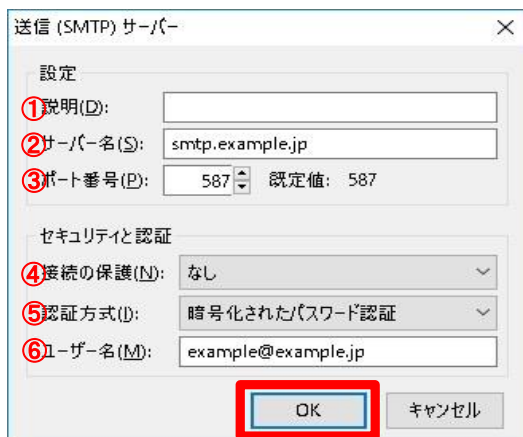
STEP5

メニューから『送信 (SMTP) サーバー』をクリックします。
リストから確認するサーバーを選択し、『編集』をクリックします。



STEP6

送信 (SMTP) サーバーの設定内容が表示されます。
各項目を確認し、『OK』をクリックします。



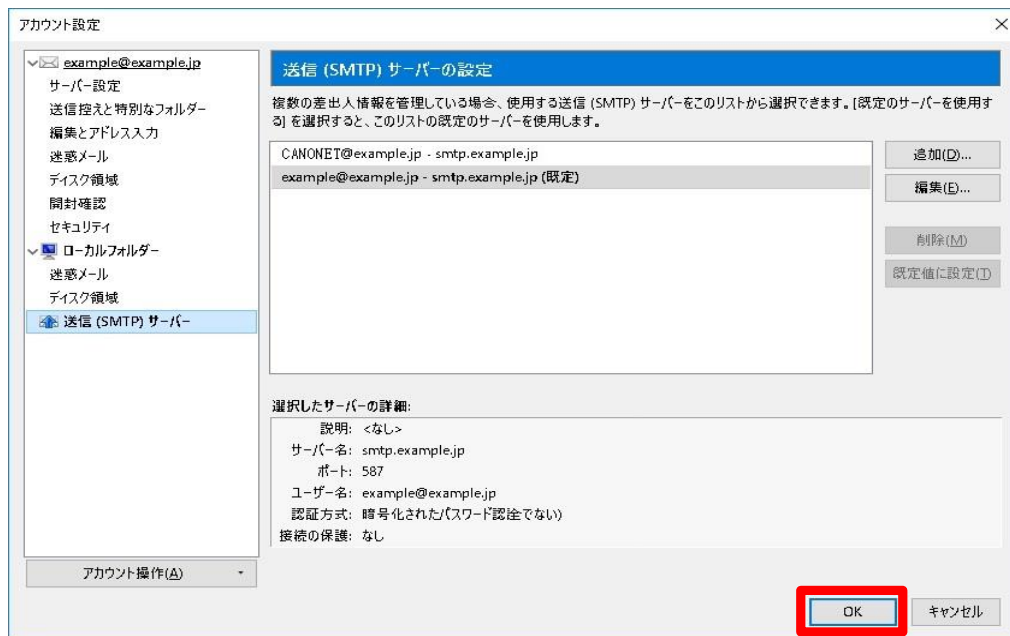
設定

①説明 (D):	任意。送信サーバーの表示名です。入力しない場合メールアドレスとなります。
②サーバー名 (S):	『smtp.』に続けて、お客様のドメイン名が入力されていることを確認します。
③ポート番号 (P):	『587』が入力されていることを確認します。

セキュリティと認証

④接続の保護 (N):	『なし』が選択されていることを確認します。
⑤認証方式 (I):	『暗号化されたパスワード認証』が選択されていることを確認します。
⑥ユーザー名 (M):	『メールアドレス』が入力されていることを確認します。

STEP7 『OK』をクリックします。



STEP8 テストメールを送受信します。

メールソフトの設定不備を確認するため、件名に『テスト』と入力し、設定したメールアドレス宛に**テストメールを送信して下さい**。(件名と本文が無い場合、迷惑メールと判定されますので、必ず件名は入力して下さい。)
テストメールが受信できればメールの設定は完了です。

テストメールが受信できない場合には、設定内容をもう一度確認して下さい。